

「デジタル空間における情報流通の健全性確保の在り方に関する検討会」

偽・誤情報対策～具体的な取組について



一般社団法人安心ネットづくり促進協議会

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会とは

- 利用者、産業界、教育関係者、有識者などが一丸になってインターネットの利用環境を整え青少年の「グッドネット」を推進する組織として2009年2月に設立された非営利団体。
- 全国各地での普及啓発イベントや研修会との連携のほか、スマートフォン等インターネット利用に関する課題を協議するなど、民間主導により様々な活動を実施。

役員

代表理事	：新美 育文	（弁護士 明治大学名誉教授）
副代表理事	：中村 伊知哉	（iU大学 学長）
理事	：金田 淳	（日本PTA全国協議会 元会長）
	牧田 和樹	（全国高等学校PTA連合会 相談役）
	森 亮二	（弁護士）
	上沼 紫野	（弁護士）
	松井 敏彦	（ソフトバンク株式会社執行役員渉外本部長）
顧問	：村井 純	（慶應義塾大学教授）
	清原 慶子	（前三鷹市長）
	尾上 浩一	（日本PTA全国協議会 元会長）
	曾我 邦彦	（日本PTA全国協議会 元会長）

<会員> (159会員 2024年4月1日時点)

■通信事業者

(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)
楽天モバイル(株)、(株)インターネットイニシアティブ 他

■通信機器メーカー

富士通(株)、日本電気(株)、(株)日立製作所

■コンテンツ企業その他

X(株)、フェイスブックジャパン(株)、グーグル(同)、
日本マイクロソフト(株)、Apple Japan(同)、Bytedance(株)、
(株)ディー・エヌ・エー、(株)ドワンゴ、グリー(株)、(株)内田洋行 他

■学識経験者及び団体等

坂元章（お茶の水女子大学副学長）
全国高等学校PTA連合会、日本PTA全国協議会
全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会
全国国立大学付属学校PTA連合会
全国高等学校長協会、主婦連合会
全国銀行協会、全国市長会、全国町村会
日本レコード協会、映倫、全国地方新聞社連合会
関西経済連合会 全国携帯電話販売代理店協会、
インターネットコンテンツ審査監視機構 他

<組織体制>

普及啓発広報委員会

委員長：
中村 伊知哉（iU大学学長）

普及啓発活動作業部会

主査：川島 芳昭（宇都宮大学教授）

調査研究委員会

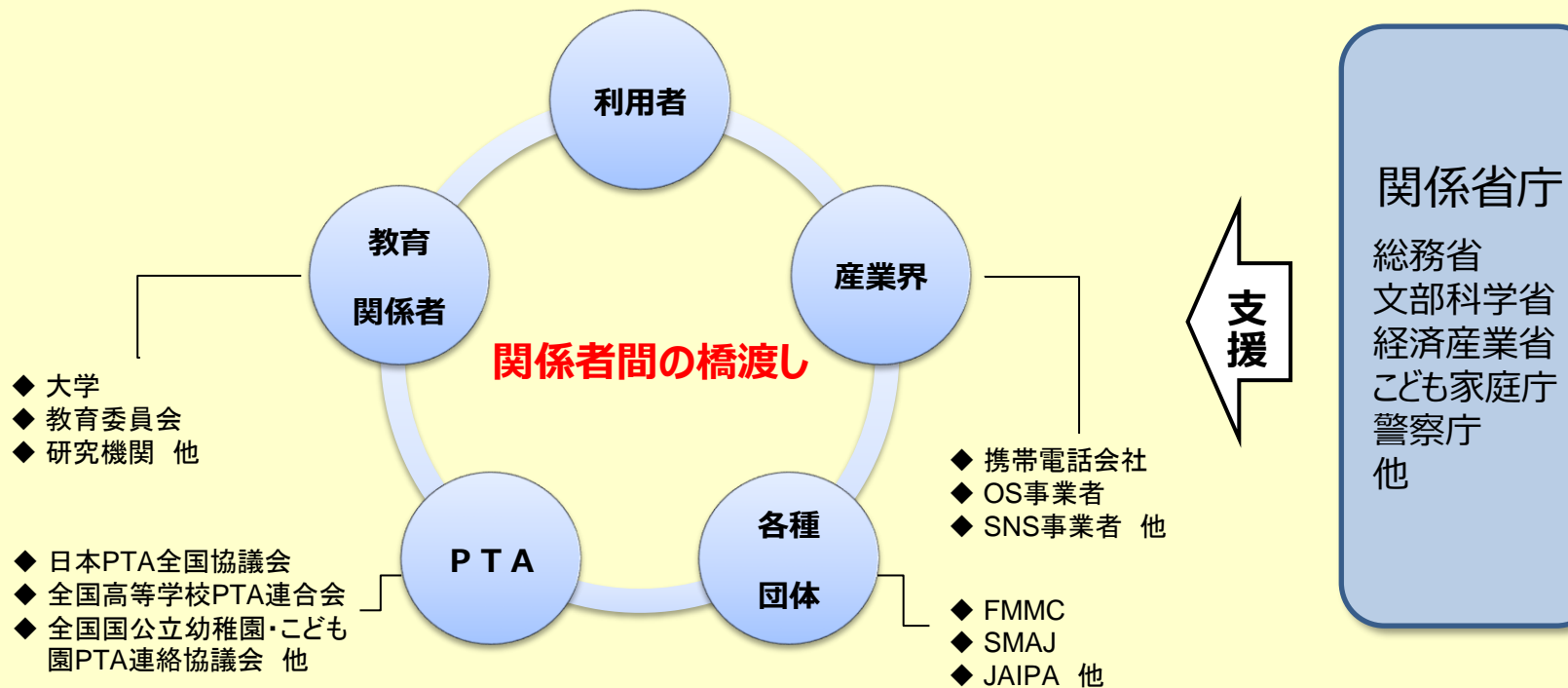
委員長：
森 亮二（弁護士）

調査企画作業部会

主査：七海 陽（相模女子大学准教授）

ICTを「賢く」使いこなすことができる環境を整備

- 青少年およびその保護者、高齢者等に向けた普及啓発広報活動
- 安心・安全な利用環境整備に向けた情報の収集、情報提供
- 地域の実情に応じた連携体制の構築



安心ネットづくり促進協議会の役割イメージ図

偽・誤情報対策～具体的な取組について

1. 高校生ICTカンファレンス
2. 安心協ニュース
3. インターネットトラブル事例集（総務省受託事業）

1. 高校生ICT Conference

事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として開催。次世代の社会を支える高校生が、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、将来のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指します。

2023年度は「今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとはーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー」をテーマに、地域開催を全国17箇所で開催し、計91校323人の高校生が参加しました。全国大会にあたるサミットを11月3日に東京で、地域開催の代表16名が集まり開催しました。

さらに、高校生の意見を政府に届けるべく、サミットで選ばれた代表2名が提言にまとめ、12月19日に、こども家庭庁（青少年インターネット環境の整備等に関する検討会）及び、総務省、文部科学省を訪問し発表しました。

- 当事者である高校生自身の気づき
- 年少の子どもに行動できる高校生の育成
- 次世代の保護者の育成



- リテラシーを持って子どものネット利用に目を配ることができる保護者
- リテラシーに加え、情報モラルを獲得した高校生
- 身の回りにすぐに相談できる小・中学生



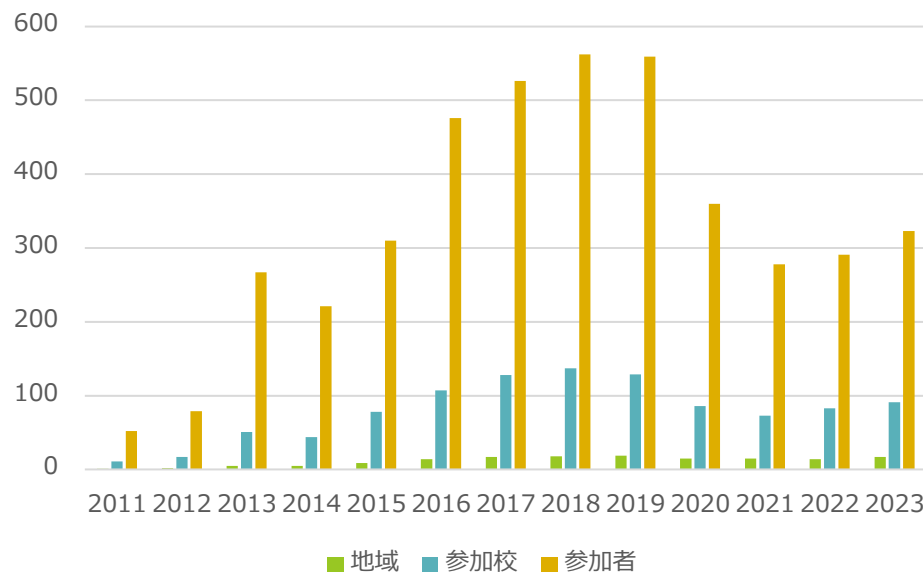
1. 高校生ICT Conference

2023年度各地開催状況

ICT Conference2023 開催地別参加人数

開催日	地域	参加校	参加人数
2023年7月29日	大分	13	41
2023年8月7日	第1回全国オンライン	4	9
2023年8月17日	新潟	11	25
2023年8月19日	長崎	4	11
2023年8月23日	茨城	6	20
2023年9月2日	福岡	3	6
2023年9月9日	兵庫	8	39
2023年9月10日	高知	3	16
2023年9月17日	大阪	6	26
2023年9月18日	石川	3	14
2023年9月18日	静岡	6	25
2023年9月24日	愛知	4	14
2023年10月1日	札幌★	3	12
2023年10月1日	帯広	3	5
2023年10月1日	東京	4	22
2023年10月8日	第2回全国オンライン	4	9
2023年10月14日	長野	6	29
		91	323

参加校と参加者の推移



	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
地域	1	2	5	5	9	14	17	18	19	15	15	14	17
参加校	11	17	51	44	78	107	128	137	129	86	73	83	91
参加者	52	79	267	221	310	476	526	562	559	360	278	291	323

1. 高校生ICT Conference

2024年度テーマ

今、高校生が考える生成AIとの付き合い方
ー「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考えるー

1. 高校生ICT Conference

コンセプト

生成AIは、従来のインターネット利用方法を変革し、検索・生成技術に革新をもたらしています。以前のテキスト検索では関連性の低い情報も表示されましたが、生成AIではイメージを文章で検索することができ、利便性が大きく向上しました。

さらに、概要から文章を生成したり、言葉による指示で画像や動画を生成する能力も持つようになりました。これらにより、事実に基づかないコンテンツも簡単に作成できるようになりました。生成AIの急速な発展は、利用者の情報アクセスやイメージ発信を容易にし、利便性向上に寄与していますが、一方では利用者はフィルターバブルやエコーチェンバーの広がり、偽情報や誤情報の拡散、また剽窃や著作権侵害に直面するリスクにもさらされています。

利便性とリスクは表裏一体でありこれを踏まえたリテラシー向上が求められています。生成AIの特徴について、将来の社会を担う高校生はどのように認識し、リスクを克服し、活用していくべきかを議論し、社会に提言します。

2. 安心協ニュース

■ 安心協唯一の定期発行啓発資料：2018年から季刊（23号発行）

○学校等への配布状況

（1）小中学校の掲示板に**A3**版貼り付け

港区、中央区、首都圏一円 約640校

※2023年春号より大田区（89校）追加

（2）教育委員会から学校への配信

札幌市305校、長野県551校、福岡県 644校

○行政機関ホームページへの掲載

茨城県webサイトでの紹介

●家庭教育応援ナビ「すくすく育ていばらきっ子」

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/katei/>

●ツイッター「すくすく育て いばらきっ子」

https://twitter.com/katei_sukusuku

○SNS等

安心協オフィシャルTwitter & HP にて発信

2. 安心協ニュース



1億人のネット宣言
もっとグッドネット


安心協ニュース

ANSHIN
internet

令和6年
一春号

誤情報と偽情報

皆さんはインターネットに公開されている情報の正しさについて考えたことがありますか？残念ながら全てが正しい情報ではありません。なかには間違っただけで公開されていることもあります。この間違っただけの情報を誤情報や偽情報と言います。人をだますことを目的としていなければ誤情報、人をだますことを目的としていれば偽情報となります。しかし、どちらの情報も間違っただけの情報です。インターネットから情報を得ることは大切ですが、その情報の正しさを判断するために、新聞やテレビなどの他のメディアも活用するようにしましょう。




誤情報や偽情報を発信しないために

年明けから大きな地震があり、インターネット特にSNSでは、応援や、救助の情報が多く発信されました。ただ残念なことにこの中には、誤情報・偽情報の投稿も多くあり、これを信じて誤情報を拡散してしまった人もたくさんいたため、国も注意を呼びかけなければなりません。人の命を守るためにもSNSは役立ちますが、誤った使い方は取り返しのつかないことになります。偽情報の作成はもちろん、誤情報の拡散もしないように気をつけましょう。

春時記

春は別れと出会いの季節、思い出の学び舎を巣立つ人、胸いっぱい希望で入学してくる人、出会いがあれば必ず別れがあります。茶道には「一期一会」という考え方があり、いつでも心を尽くすことの大切さを説いています。

行春や 鳥啼魚の 目は泪 (松尾芭蕉)



安心ネットづくり促進協議会からのお知らせ

生成AIの急速な進化に伴い、誤情報・偽情報はとても巧みに作られるようになってきました。誤情報・偽情報を防ぐには技術による対応も一つの対策ですが、これだけでは完全な対策をとることは困難で、リテラシーの向上も大切となってきます。安心協では情報の受け手である利用者の皆さんと連携して誤情報・偽情報への対応を進めてまいります。



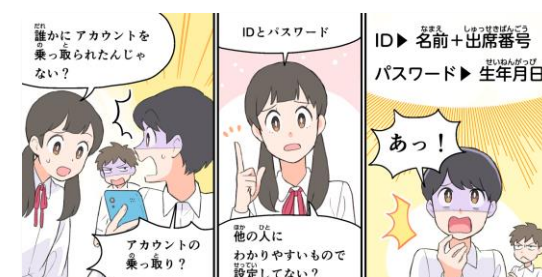
1億人のネット宣言
もっとグッドネット



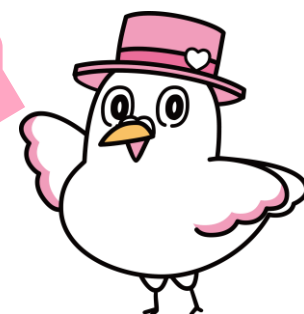
3. インターネットトラブル事例集（総務省受託事業）

インターネットトラブル事例集の作成請負

- 「インターネットトラブル事例集」は青少年やその保護者がインターネットを利用するうえで必要な知識を得るために総務省が2009年から作成している啓発資料
- 安心協は2024年版の作成を請け負うにあたり、関係者（大学、消費者団体、弁護士、企業など）の協力をいただき、既存の16事例の内容を見直して加筆修正したものに5つの新規事例を加えた全21事例を作成



実際に起きていることでネットの使い方を考えよう!

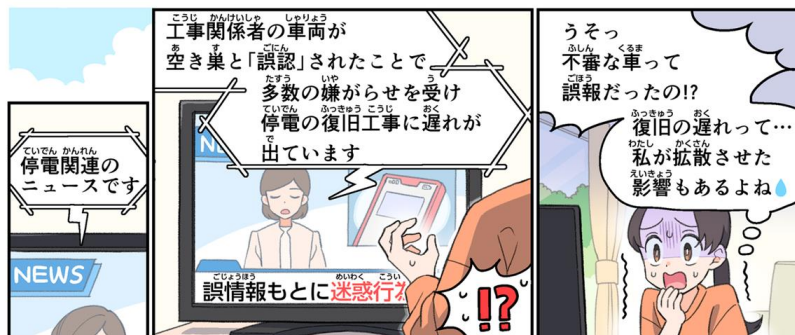
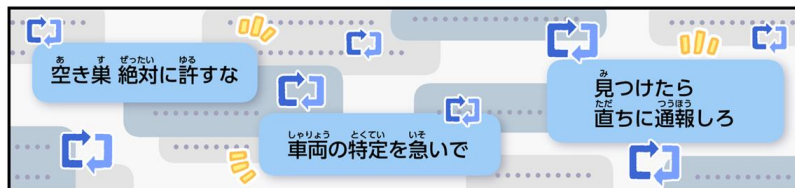
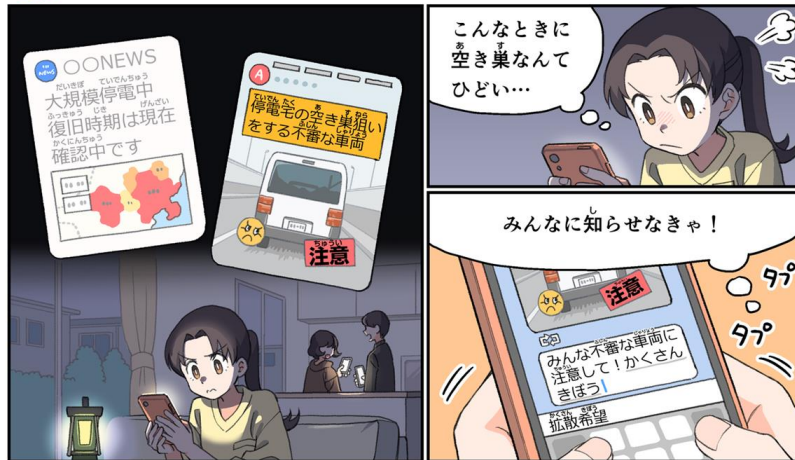


総務省の啓発ポータルサイト「上手にネットと付き合おう!」に掲載
https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/trouble/

3. インターネットトラブル事例集（総務省受託事業）

事例：偽誤情報関連

21 良かれと思って拡散した情報がデマだった？！



啓発活動にあたっての課題認識

①インターネットを利用する者に届くことが必要

安心協をはじめ、協力・関係していただいている様々な団体・個人が啓発活動に携わっている方から「面的な啓発が必要」との意見が多い。PTAや自治体の協力を得て取り組んでいるが、全国的な啓発プラットフォームがあっても良いのではないか

②利用者としてのリテラシーだけではなく、インターネットの仕組みやビジネスモデルの理解が必要

総務省ICT活用のためのリテラシー向上に関する検討会が公表した「ICT活用のためのリテラシー向上に関するロードマップ」において指摘されるとおり、単なるユーザーとしてICTサービスを使いこなすための知識だけでなく、インターネットの仕組みやビジネスモデルによって生じるアテンションエコノミーやフィルターバブル、エコーチェンバーなどの理解を促すことが必要ではないか

③青少年における偽・誤情報の影響

5月17日のWGにおいて「違法情報」・「有害情報」・「権利侵害情報」の概念と「偽・誤情報」の関係性を表した資料において「必ずしも違法ではないが有害な偽・誤情報」とされるものが図示されたが※、青少年におけるアダルトコンテンツや残虐なコンテンツの影響と対策などと同じく、このような情報に関する青少年影響という観点から検討が必要ではないか

※資料WG20-1-1のスライド21

ご清聴ありがとうございました